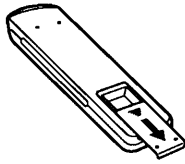
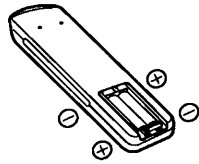


■リモコン送信器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえないが手前に引いてください。



②単4乾電池を表示にあわせて極性+をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。



リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月がめやすです。

ご 注 意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

■時計の合わせ方

注意)時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。

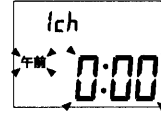
<電池投入時>

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

①<時>ボタンで時刻を合わせます。

(時) ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。

※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

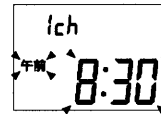


例)午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。

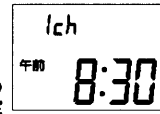
②<分>ボタンで分を合わせます。

(分) ボタンを押すごとに1分単位で進みます。

※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



(入タイマー)
ボタンで決定



<時刻を変更するとき>

①<時>+<分>ボタンを同時に3秒間押します。

②「電池投入時」の①~③と同じ手順で時刻を登録します。

■チャンネルの合わせ方

①照明器具のセードを外します。

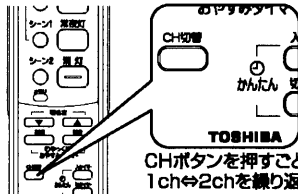
例:1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。

照明器具のチャンネル部



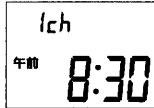
※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと動作できません。

②リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。



CHボタンを押すごとに
1ch⇄2chを繰り返します。

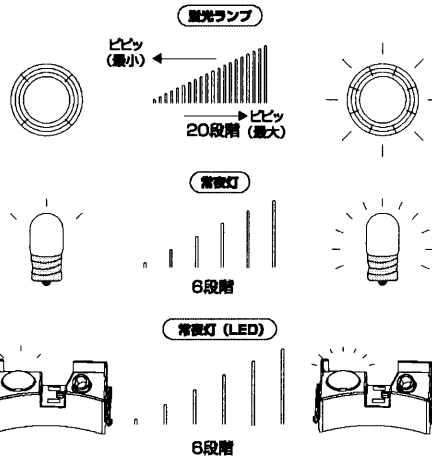
液晶画面に
「1ch」が表示



※出荷時は1chに
設定してあります。

■明るさの調整について

リモコン送信器の<明るさ>ボタンで通常ランプおよび常夜灯の明るさを変えることができます。

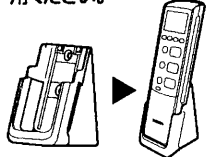


※消灯から<明るさ>ボタンを押した場合は、内側のランプのみ点灯します。明るさを上げていくと2本のランプが点灯します。明るさが最大の場合はピピッと鳴ります。
※(<明るさ>)ボタンを押して明るさを下げていくと2本のランプ点灯から内側のランプのみ点灯となります。明るさが最小の場合はピピッと鳴ります。

■リモコンホルダーのご使用方法

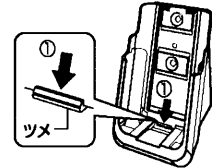
<卓上ホルダー>

卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

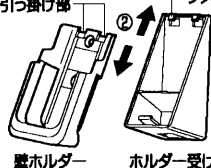


卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。

①卓上ホルダー下部にあるツメを↓の方向に押します。



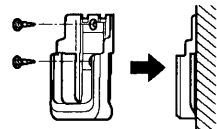
②矢印の方向にスライドさせると分離できます。



<卓上ホルダーとしてご使用になる場合>

(組み立て方)

壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて→の方向に押し卓上ホルダーになります。



ご 注 意

壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器を外して器具に向けてください。壁掛けホルダーにいれたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

■おこのみの明るさをシーンボタンにメモリする（調光状態を記憶する）

シーン1にメモリする

よく使う明るさ（調光）をメモリすることができます。

操作ボタン



※工場出荷時は、シーン1:約10%、シーン2:約70%に設定してあります。

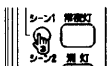
1. 〈明るさ▼▲〉ボタンでおこのみの明るさに調光します。



液晶画面



2. 〈メモリ〉ボタンを押します。
画面がメモリ待機となります。



器具本体



3. 〈シーン1〉ボタンを押します。

ピーツとなって器具本体にメモリされます。
シーン2にメモリする場合は、〈シーン2〉のボタンを押します。

※〈シーン〉ボタンを押すときは、照明器具に向けて操作してください。
※〈メモリ〉を押したあとに、〈シーン〉以外のボタンを押すとシーンメモリはキャンセルされます。
※シーンにメモリした明るさを変更する場合は再度1～3の手順を繰り返してください。（上書きされます）

メモリ待機中は画面が点滅します

シーンメモリ完了

■入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を「約70%調光点灯」させることができます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。（「時計の合わせ方」参照）

例) 午後7:30に入タイマーを予約する場合。

1. 〈入タイマー〉ボタンを押します。

画面が点滅します。 ※工場出荷時は午後8:00に設定してあります。

操作ボタン

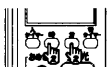


液晶画面



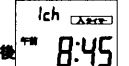
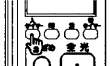
2. 〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決めます。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3. 〈入タイマー〉ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「入タイマー」が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



※いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「調光点灯」を繰り返します。
（予約の解除方法は「予約を解除する」参照ください）

■切タイマーを予約する

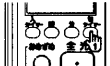
タイマー機能を使って照明器具を「消灯」させることができます。

例) 午後11:30に切タイマーを予約する場合。

1. 〈切タイマー〉ボタンを押します。

画面が点滅します。 ※工場出荷時は午後9:00に設定してあります。

操作ボタン



液晶画面



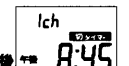
2. 〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決めます。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3. 〈切タイマー〉ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「切タイマー」が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



※いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「消灯」を繰り返します。
（予約の解除方法は「予約を解除する」参照ください）

■おめざめタイマー機能を使う

予約した時刻の30分前からゆっくり点灯させることができます。

例) 午前7:30におめざめタイマーを予約する場合。

1. 〈おめざめ〉ボタンを押します。

画面が点滅します。 ※工場出荷時は午前7:00に設定してあります。

操作ボタン



液晶画面



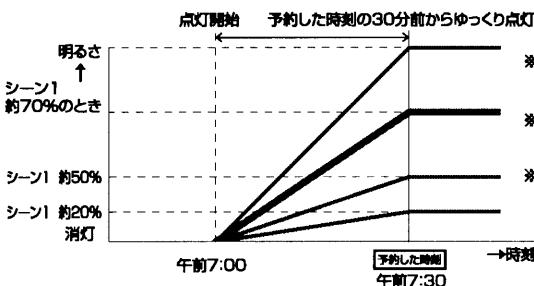
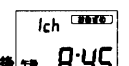
2. 〈時〉、〈分〉ボタンを押します。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3. 〈おめざめ〉ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「おめざめ」が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



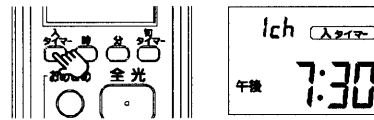
※おめざめタイマーは、シーン1でメモリした明るさまで徐々に明るくなります。

※シーン1に調光下限約2%をメモリした場合は、徐々に明るくなりません。

※いったん予約されると予約を解除するまで、毎日同じ時刻に「おめざめ」点灯を繰り返します。
（予約の解除方法は「予約を解除する」参照ください）

■予約内容を確認する 入タイマー、切タイマー、おめざめタイマーの場合

例)「入タイマー」の予約時刻を確認する。
 ※液晶画面上に「入タイマー」表示されている状態で、

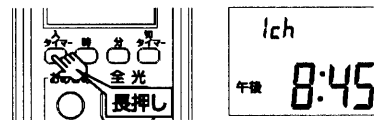


1. (入タイマー) ボタンを1回押します。
 現在の予約時刻を表示します。
 (約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。)

※切タイマー、おめざめタイマーの予約時刻の確認も「切タイマー」(おめざめ)表示されている状態で「切タイマー」、(おめざめ) ボタンを1回押します。

■予約を解除する

例)「入タイマー」の予約を解除する場合。
 ※液晶画面上に「入タイマー」表示されている状態で、



1. (入タイマー) ボタンを3秒間長押しします。
 「入タイマー」表示が消え現在時刻表示に戻ります。

※切タイマー、おめざめタイマーの予約を解除する場合も「切タイマー」(おめざめ)表示されている状態で「切タイマー」、(おめざめ) ボタンを長押しします。

■予約中の設定時刻を変更する

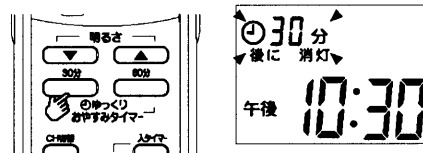
例)「入タイマー」の予約時刻を変更する場合。
 ※液晶画面上に「入タイマー」表示されている状態で、

1. (入タイマー) ボタンを3秒間長押しします。
2. 「入タイマーを予約する」1～3の操作をします。

※一度解除しないと予約時刻の変更はできません。
 ※切タイマー、おめざめタイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

■ゆっくりおやすみタイマー

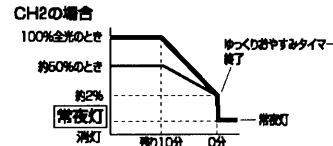
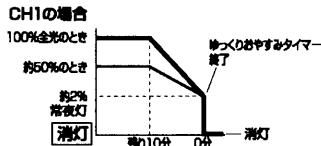
- ワンボタン操作で30分後、または60分後に蛍光灯の自動消灯ができます。
 また、残り10分間は明るさがゆっくり減少します。
 「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。
 「60分」ボタンを押すと器具がピピッと3回鳴ります。



- チャンネルの設定で、ゆっくりおやすみタイマー後の照明器具の状態が選べます。

・CH1の場合:
 ゆっくりおやすみタイマー終了後「消灯」します。

・CH2の場合:
 ゆっくりおやすみタイマー終了後「常夜灯」が点灯します。



ゆっくりおやすみタイマー作動中は液晶のタイムカウントが点滅します。
 ※CH1とCH2でそれぞれタイムカウント表示ができます。
 チャンネルを切替えて表示させた場合は、約3秒後にタイムカウント表示に戻ります。

- ※「全光」「シーン」「常夜灯」「消灯」のいずれかを操作すると解除されます。
- ※約2%の調光点灯では蛍光灯の明るさは減少しません。
- ※常夜灯が点灯している状態で、ゆっくりおやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後(または60分後)に消灯します。(明るさはゆっくり減少しません。)

ポイント 出荷時は本体側、リモコンともにCH1に設定されています。設定を変更する場合は、本体とリモコンの両方のチャンネルを変更してください。

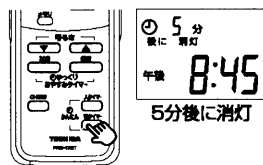
■かんたん切タイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「消灯」します。

- ①(かんたん切タイマー) ボタンを押します。

かんたん切タイマーの時間は5分、10分、15分、30分、60分から選べます。

5→10→15→30→60分後に消灯 →: ボタン操作
 ↑ ch表示(キャンセル)



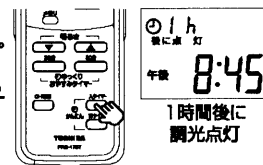
■かんたん入タイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「約70%調光点灯」します。

- ①(かんたん入タイマー) ボタンを押します。

かんたん入タイマーの時間は1、2、3、6、9、12時間から選べます。

1→2→3→6→9→12時間後に点灯 →: ボタン操作
 ↑ ch表示(キャンセル)

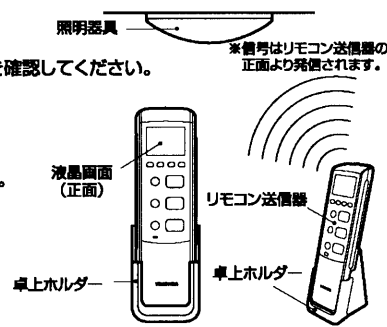


※(かんたん切タイマー)と(かんたん入タイマー)は併用できません。

※ゆっくりおやすみタイマー動作中は、(かんたん切タイマー)と(かんたん入タイマー)は操作できません。
 操作する場合は、ゆっくりおやすみタイマーを解除してください。

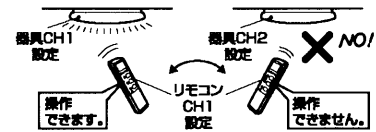
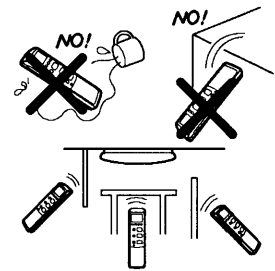
■タイマー予約における使用上のご注意

- 壁スイッチは必ずONにしてください。
- リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
- 卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
- 器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
- 天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
- 卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。
- 卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
- 卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
- 直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
- ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。



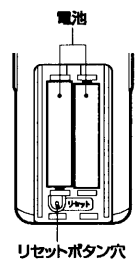
■リモコン使用上のご注意

- リモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどにはご使用できません。
- リモコン送信器は、照明器具の壁スイッチがONのときのみ切替えます。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなる場合があります。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗していると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用するとリモコンが正常に動作しないときがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
- 1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。2台の照明器具を1つのリモコン送信器で操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを合わせて操作してください。
- 冬場など周囲温度が低い時、点灯直後、リモコン送信器での連続調光「明るさ▼▲」ボタンでの長押し操作がききにくい場合があります。その場合は、「明るさ▼▲」ボタンを長押しせず、1回ずつ押しながら調光してください。
- 電源の停電などで明るさが切替わったり、切替えができなくなったりする場合があります。
その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。
- リモコン送信器の「消灯」ボタンを押すと、照明器具が約3秒でフェード消灯します。
フェード消灯機能が働いている途中(約3秒間)、再度「消灯」ボタンが連続して押された場合、消灯できなくなる場合があります。
この場合は、リモコン送信器の「全光」ボタンもしくは「常夜灯」ボタンを押してから、再度「消灯」ボタンを押してください。



■故障かな?と思ったら

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光灯が切れている。	蛍光灯を交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。(右図参照)
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	時刻が合っていない。	時刻を合わせてください。
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。
かんたん切タイマー、かんたん入タイマーが設定できない。	ゆっくりやすみタイマーが設定されている。	ゆっくりやすみタイマーを解除してください。
ゆっくりやすみタイマーで消灯しても常夜灯が点灯する。	CH2でゆっくりやすみタイマーが操作されている。	リモコンと本体のチャンネルをCH1に切り替えて操作してください。
ランプが内側の1本しか点灯しない。	調光レベルが下限または下限に近くになっている。	調光レベルが下限にちかくなると内側のランプのみ点灯します。故障ではありません。
ランプが5秒間隔で全光→調光約2%→全光→を繰り返す。	工場検査モード(デモモード)になっている。	リモコンのチャンネル2の状態、〈入タイマー〉〈全光〉〈常夜灯〉の3ボタンを同時に3秒間長押ししてください。器具本体が「ピーツ」と鳴って通常動作になります。



■お客様メモ

購入年月日 年 月 日

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9：00～20：00

携帯電話・PHSなど 048-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 照明器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

電話 (046) 862-2103
FAX (046) 861-8776

リモコン送信器 (0032152) A 6